

# 大分中央地域 まちづくりビジョン



大分中央地域ビジョン会議  
平成30年7月

---

---

# — 目 次 —

大分中央地域まちづくりビジョンとは	P1
<b>第1章 地域の特性</b>	
1 地理的特性	P2
2 地域の歩み、歴史・文化的特性	P2-5
<b>第2章 地域の現状</b>	
1 土地利用の状況	P6-7
2 観光・産業	P8-10
3 地域内の公共施設	P11-13
4 避難所・津波避難ビル	P14-18
5 市民による協働のまちづくりの取組	P19-24
<b>第3章 人口推移と将来推計</b>	
1 大分市の人口推移と将来推計	P25-26
2 大分中央地域の人口推移と将来推計	P26
3 大分市の人口ビジョン	P27
<b>第4章 地域の課題分析</b>	
1 SWOT 分析による地域の現状分析	P28-30
2 地域の将来に向けた魅力・課題の整理	P31
<b>第5章 地域のあるべき姿(将来像)</b>	
大分中央地域の将来像	P32
<b>第6章 将来像の実現に向けた取組</b>	
1 これからのまちづくりに向けた市長への提言	P33
2 提言に基づく事業提案の一覧	P34-36
3 まちづくりの役割分担	P37-38
4 まちづくりの整理図・将来図	P39-41
<b>資料編</b>	
1 策定経過	P43
2 大分中央地域ビジョン会議委員、顧問および事務局名簿	P44-45
3 大分市地域ビジョン会議設置要綱	P46-48

---

---

## 大分中央地域まちづくりビジョンとは

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政に地域の実情や意向等を的確に把握していただき、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的に、市内13地域において、各地域の代表者で構成する「地域ビジョン会議」を平成29年5月に設置し、それぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域の将来像として「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

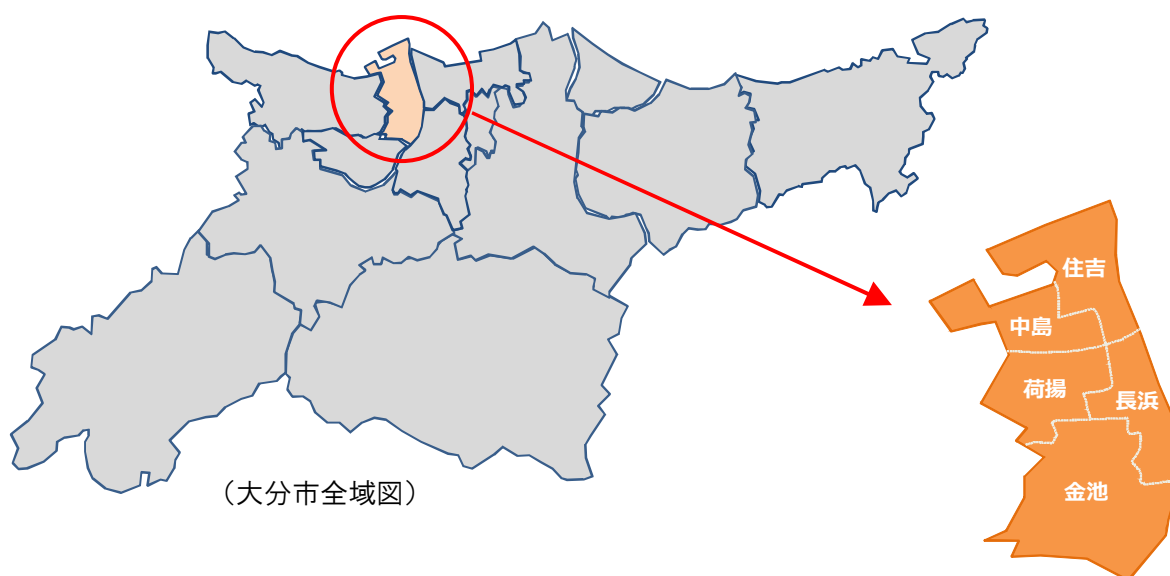
大分中央地域ビジョン会議で取りまとめた「大分中央地域まちづくりビジョン」について、大分市長に提言いたします。

### (1) ビジョン会議設置地域（市内13地域）

<b>大分中央地域</b>	大分西部地域	大分南部地域
南大分地域	大分東部地域	鶴崎地域
大南地域	植田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		

\*大分中央地域まちづくりビジョンは、金池・荷揚・長浜・中島・住吉の5校区を対象としています。

### (2) 大分中央地域の対象校区



## 第1章 地域特性

### 1 地理的特性

大分中央地域は、大分市北西部に位置しています。

地域の北側は別府湾に面し、南側は上野の台地を形成、東側を大分川に囲まれ、台地部分を除き、そのほとんどが平地となっています。

本地域に立地する県内最大規模の鉄道駅である大分駅は、1日あたりおよそ1万9,000人が利用し、九州内では新幹線の通る博多・小倉・鹿児島中央に次ぐ乗車人数を擁しています。周辺に広がる中心市街地には大分県庁や大分市役所などの官公庁、百貨店、商店街等商業施設が集中し、県都の中心としてのにぎわいが見られます。

また、本地域は金池・長浜・荷揚・中島・住吉の5校区47自治区により構成され、それぞれの地区において住民による地域コミュニティが形成されています。

### 2 地域の歩み、歴史・文化的特性

#### (1) 地域の歩み

本地域は、中世以降、政治経済の中心地として発展してきました。

地区は、江戸時代より府内藩の城下町として整備が進められてきました。第二次世界大戦時、空襲により大きな被害を受けますが、戦後の復興、昭和39年の新産業都市指定などにより、現在の中心市街地が形成されています。

平成29年3月、大分駅南土地区画整理事業の竣工により、大分駅の南側でも商業施設やマンション等の立地が進み、新たなにぎわいが生まれています。

#### 【各校区の歩み】

金池	荷揚
本校区は中世に大友氏の拠点として繁栄してきました。 江戸時代に入ると大分の中心地は府内城下町に移りますが、近年は大分駅周辺総合整備事業により街が生まれ変わるとともに、住民の増加によりにぎわいが見られます。	江戸時代より府内藩城下町として発展し、明治時代以降も商業地として成長を続けています。 現在も大分県の商業の中心でありながらも、商人と住民が共存する昔ながらの面影を残しています。
長浜	中島
かつて大分川の支流が通る湿地帯でしたが、明治時代の終わりに大分県女子師範学校が移転されてから、徐々に住宅が形成されました。 長濱神社の夏季大祭は県内でも有名で、古くからの神社を中心とした地域コミュニティが現代まで受け継がれています。	中島校区のうち、海側は沖の浜と呼ばれ古くから漁師町として発展してきました。 明治初期頃は新川港が大分の海の玄関としてにぎわい、昭和に入ると、湿地帯の整理により中島十条が形成され、閑静な住宅地となっています。
住吉	
海と川に接する湿地や砂島でしたが、昭和に入り埋め立てが開始されました。臨海工業地帯建設が決まると、海岸部の5号地に中小企業団地が形成され、中央卸売市場の開設と合わせてにぎわいが生まれています。	

### (2) 歴史・文化的特性

大分中央地域は、縄文時代から現代まで、瀬戸内ルートを主幹にした「海の道」を媒介に歴史を刻んだ東九州の要地です。また、古代・豊後国府以来、現代まで1300年に渡り県都としての役割を担っています。

豊後国の政治・経済・文化の中心地であった国府は、7世紀から10世紀までの大規模な役所の跡（官衙：かんが）が発見された竜王畑遺跡や「高国府」という地名から、現在の大分市上野丘一帯に所在したことが有力視されています。中世には、大友氏が豊後国守護職を得て、3代大友頼泰が元寇の際に博多へ、のち豊後国へと移住したといわれ、その場所が上野台地上と推定されています。また、5代貞親は元町に豊後万寿寺を創建し、6代大友貞宗により大分元町石仏および岩屋寺石仏を擁していた「岩屋寺」を上野台地に移して「円寿寺」とし、また南大分に所在した「金剛宝戒寺」も同様に上野台地へと移転し「木造大日如来坐像」をはじめとした鎌倉時代の仏像を制作するなど、仏教文化が花開きました。

「府内古図」によると、大友館を中心とし格子状に区画された40あまりの町が描かれており、現在の錦町から顕徳町、元町にかけて「中世府内のまち」が存在していました。天文20年（1551）には、大友宗麟の招きでフランシスコ・ザビエルが招かれ、それを機に府内教会や病院、コレジオが建てられ、さまざまな海外の品、人々が集まる国際貿易都市として発展しましたが、天正14年（1586）、島津氏が豊後に侵攻し府内は焼き尽くされ、のちに大友氏による支配は終了しました。

江戸時代になり、福原氏により府内城の築城が始まり、のち竹中氏によって天守および城下町が完成し、現在の大分市街地の基礎が形作られました。城下町は40あまりの町が整備され、町の北西には港「京泊」（きょうどまり）が築かれました。明治維新後の廃藩置県により、大分県が誕生し、県庁が府内城に置かれました。城下町の外側を囲んでいた土居を崩し、府内城の3つの堀のうち外堀、中堀を埋め立て道路や新しい町を整備し現在の中心市街地の姿となっています。昭和20年（1945）7月の空襲によって市街地の西半分が焼失しましたが、戦後、復興事業により急速に復興、昭和30年代からの大分・鶴崎臨海工業地帯を造成し、工業都市と大きく変貌を遂げました。

## 図一地域の文化財



### ■大分元町石仏 [国指定史跡]

丸い顔面に弓状の眉、厚いまぶたに切れ長の伏せ目、花卉の形をした小児のような唇をもつ穏やかな顔をした薬師如来像を中心に7体の像が刻まれています。

12世紀末ごろの造像と思われ、大分市を代表する磨崖仏です。

### ■木造大日如来坐像 [国指定重要文化財]

金剛宝戒寺の大日堂に納められている本像は、桧材の寄木造で、肉付きの良いおおぶりの目鼻立ちの顔、力強く均衡のとれた体つきの堂々とした姿の仏像です。

像の内側のほぼ全面に墨書が見られ、作者が鎌倉時代末期から南北朝時代を代表する南都仏師「康俊」であったことが判明しています。



### ■大友氏遺跡(大友氏館跡地区) [国指定史跡]



大友氏は、鎌倉時代より戦国時代まで豊後の国を治めていました。最盛期は、戦国時代の宗麟公の時代で、北部九州6カ国を治め、南蛮貿易を盛んに行っていた国際都市「府内」は「ティセラ日本図」にも名を残すほどでした。

この「府内」の町の中心にあり、政治を行っていた場所が「大友氏館」であり、200m四方の広さがあり、巨大な庭園(写真)を持った館であったことが最近の発掘調査で分かりました。

現在は、南東部の「旧万寿寺地区」とともに、「大友氏遺跡」として順次国指定を受けています。

■府内城跡 [県指定史跡(一部)・市指定史跡]

慶長2年(1597)福原直高により築城が始められ、竹中重利によって慶長7年(1602)に完成した府内藩のお城です。寛保8年(1743)の大火により、天守閣をはじめほとんどの施設が焼失し、それ以降天守閣は再建されませんでした。現在は、大分空襲で焼失した櫓(やぐら)も復元され、城址公園として市民の憩いの場となっています。また、築城時に人柱となったお宮をまつる祠が天守台の下にあり、毎年3月に供養が行われています。



■大分銀行赤レンガ館 [国登録文化財]

大分市の中心部に現存する明治時代の洋風建築です。辰野金吾、片岡安によって設計され、ランタンを持つ八角形ドームの屋根は「辰野式ルネッサンス」の特徴といわれます。内装は改築されていますが、建築当時の姿を忠実に復元された外観は、明治建築の特徴をよく残し、中心部の都市景観の中で異彩を放っています。

---

## 第2章 地域の現状

### 1 土地利用の状況

大分中央地域の全域が市街化区域となっています。

本地域は、大分駅周辺総合整備事業の実施により、南北に分断されていた中心市街地が一体化され、まちは大きな変貌を遂げています。

大分駅からは美術館巡りや買い物等に便利な中心市街地循環バス「大分きゃんバス」が走行し、また、自転車等放置禁止区域に、エリアを分けて駐輪場の整備を行うことで、安全な歩行空間の確保・良好な街並みと景観の保全を図っています。

上野の森口広場の南側にはシンボルロード「大分いこいの道」があるほか、上野ヶ丘子どものもり公園や弁天島公園などの大規模公園、各校区には街区公園が整備されており、市民の憩いの場となっています。

また、地域の北側は、臨海工業地域として工業地が形成され、多くの工場が立地しています。





## 【校区別都市公園一覧】

校区		公園名	面積 (㎡)
金池	1	上野ヶ丘墓地公園	92,493
	2	上野みかん公園	163
	3	上野丘子どものもり公園	129,837
	4	上野南陽台東公園	683
	5	金池南ニコニコ公園	2,500
		金池校区 計	225,676
荷揚	1	若草公園	6,158
	2	ふないアクアパーク	2,362
	3	ジャングル公園	5,701
	4	遊歩公園	3,812
	5	大手公園	3,500
	6	大分城址公園	40,115
		荷揚校区 計	61,648
長浜	1	舞鶴公園	3,174
	2	坊ヶ小路公園	955
	3	城崎公園	1,237
		長浜校区 計	5,366
中島	1	新川公園	2,573
	2	えびす公園	675
	3	新川ちびっこ公園	1,760
		中島校区 計	5,008
住吉	1	天神島公園	2,480
	2	弁天島公園	22,081
	3	住吉川河川緑地1号緑地	397
		住吉校区 計	24,958
		中央地域合計 <u>20箇所</u>	322,656

---

## 2 観光・産業

### (1) 観光

本市では、「大分市総合計画」に掲げられた「魅力ある観光の振興」を具現化するため、「大分市観光戦略プラン」を策定しています。

この計画では基本理念として、「本市が有する観光資源の魅力再発見に努めるとともに、本市を訪れる人が『また来たい』と感じてくれるような『おもてなしのまちづくり』に取り組む」こと、「県下の市町村や九州各都市等との広域的な連携を強めるとともに、本市を応援してくれる個人・団体・事業者・関係機関と協力し、新たな魅力の創出に努める」こと、「こうした取組の中で醸成された本市の魅力を戦略的に発信し、国内外での大分市の知名度を高め、交流人口の増加を目指す」としています。

大分中央地域がめまぐるしく変貌を遂げるなか、大分城址公園を新たな魅力を有する歴史文化観光拠点として整備し、新たな公園の在り方を示す「大分城址公園整備・活用基本計画」を定めるとともに、大友氏遺跡を大分市の個性と魅力を代表する歴史公園として公開・活用するため、調査成果を踏まえた適切な整備手法の設定、便益施設や学習交流施設の配置計画、隣接地と連携した整備の在り方などをまとめた「史跡大友氏遺跡整備基本計画」を策定し、本地域に点在する歴史文化施設や近世府内城と連携した公開・活用が期待される環境にあるほか、大友氏館跡の約1.0 km西にあるJR大分駅からは徒歩15分の距離であることから、近隣地域の歴史資源等を見学する際の、回遊ルートの起点あるいは結節点としての役割もあわせて担うことが見込まれています。

さらに、大分中央地域においては、夏には大分市を代表する「大分七夕まつり」、秋には「おおいと食と暮らしの祭典」、また、「大分市中央通り歩行者天国」が年3回実施されるなど、一年を通じて魅力的なイベントが開催されており、毎年地域住民だけでなく地域外からも多くの方が訪れています。



【七夕まつりの様子】

(2) 産業

大分中央地域は、大規模商業施設のほか、地域住民の身近な買い物の場として商店街が発達しているなど、商業・サービス業が盛んな地域です。しかしながら近年、少子高齢化が進み、人口減少社会の到来による市場の縮小や、高速交通体系の整備やICTの普及による買い物環境の変化などにより、商業・サービス業における市場競争は激化しています。

そのため市では、中心市街地活性化基本計画を策定する中、特色ある個店づくりや魅力ある商店街づくりに取り組んでおり、その一環として、商店街が実施するイベント開催への支援や、空き店舗対策などに取り組んでいます。平成28年度からは年に数回中央通りにおいて歩行者天国も実施され、地域住民のみならず地域外からも多数の来客がりにぎわいをみせています。

また、沿岸部では別府湾域を漁場とし、サワラやマダイなどを対象とした刺し網漁業が営まれているほか、同じく沿岸部には生鮮食料品などの流通拠点である、大分市公設地方卸売市場があり、市民へ安定的かつ効率的に食料を供給しています。

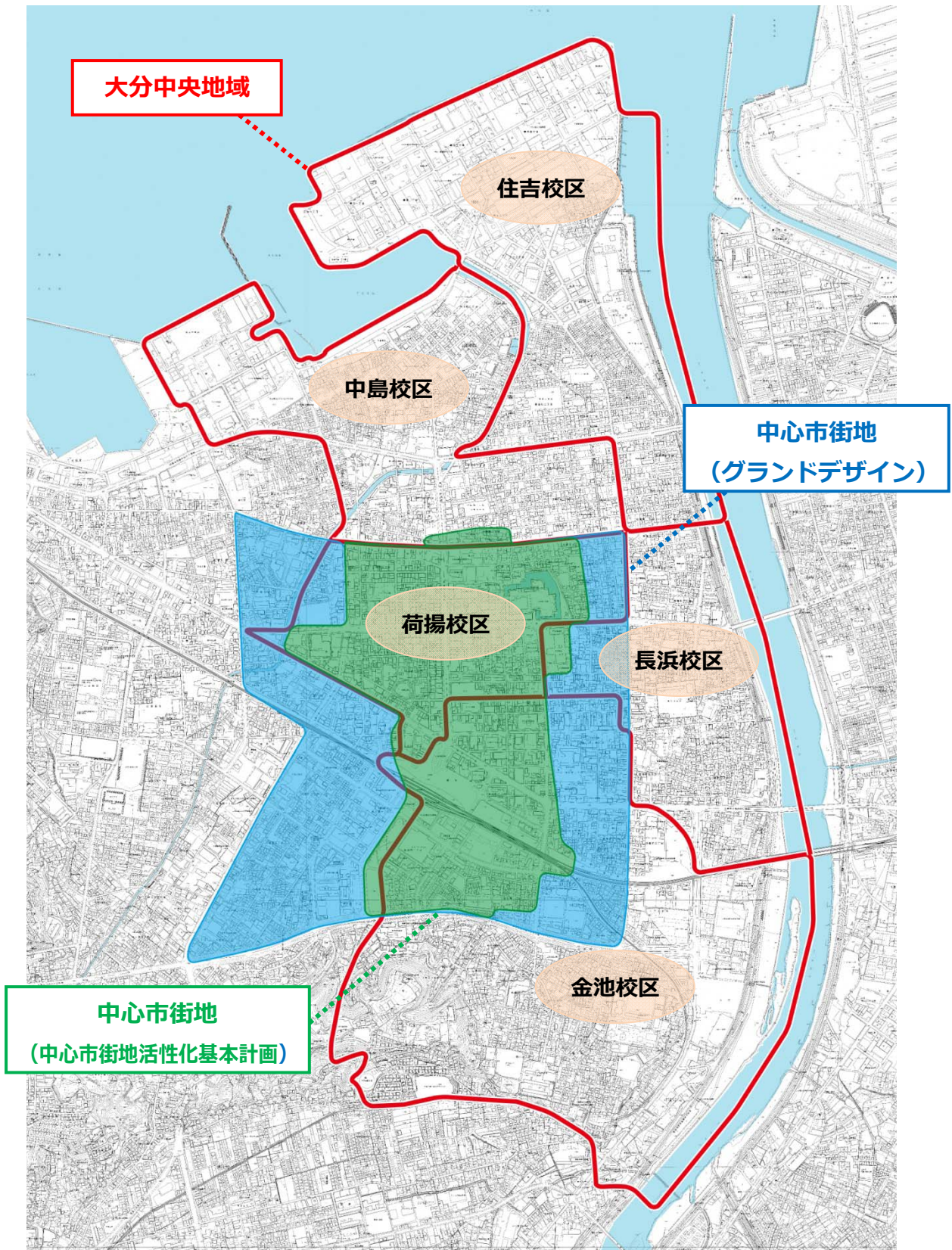


【歩行者天国】



【公設地方卸売市場の様子（市民感謝デー）】

表一大分中央地域・中心市街地の範囲



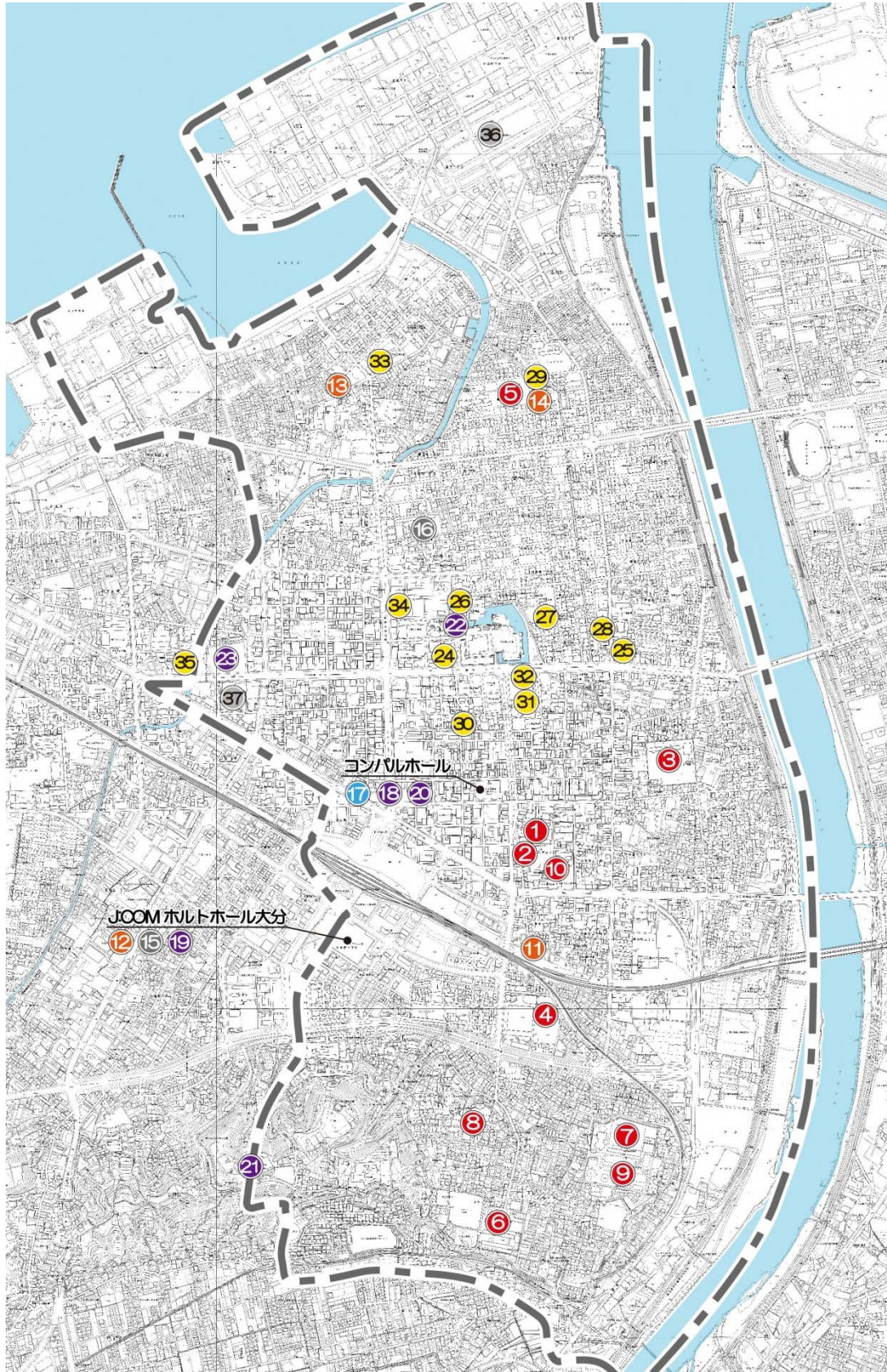
### 3 地域内の公共施設

大分駅の北側には、大分市役所や大分県庁など多くの官公庁が立地するとともに、コンパルホール、公民館や図書館などが立地し、多くの市民が利用しています。

南側には、ホールや福祉施設、保育所などの機能が備わった J:COM ホルトホール大分が立地しており、周辺地域のにぎわいを創出しています。



図一 主な公共施設配置図



【公共施設名称】

市立幼稚園	市立小学校	市立中学校	県立高等学校	その他教育機関
①金池幼稚園	②金池小学校	④上野ヶ丘中学校	⑥大分上野丘高等学校	⑨大分県立 芸術文化短期大学
	③長浜小学校		⑦芸術文化短期大学附属 緑丘高等学校	⑩大分県立盲学校
	⑤碩田学園		⑧爽風館高等学校	

保育所	こどもルーム	地区公民館	スポーツ施設	図書館
⑪金池保育所	⑮中央こどもルーム (J:COM ホルトホール大分内)	⑰大分中央公民館 (コンパルホール内)	⑱体育館 (コンパルホール内)	⑲大分市民図書館本館 (J:COM ホルトホール大分内)
⑫桜ヶ丘保育所				⑳大分市民図書館分館 (コンパルホール内)
⑬浜町保育所	⑯府内こどもルーム			
⑭住吉保育所				

美術館	行政機関（市）	行政機関（県）	その他
⑲大分市美術館	⑲大分市役所	⑳大分県庁	㉑大分市公設地方 卸売市場
⑳アートプラザ	㉒大分市消防局	㉓大分県警察本部	㉔iichiko 総合文化 センター
㉑大分県立美術館	㉕大分市保健所	㉔大分合同庁舎	<b>複合施設（再掲）</b>
	㉖大分市役所城崎分館	㉕大分中央警察署	J:COM ホルトホール大分
	㉗大分市上下水道局	㉖大分県消費生活・ 男女共同参画プラザ	コンパルホール
	㉘大分市教育センター		
	㉙市民活動・消費生活センター		

※番号は地図上の場所を表しています。

---

#### 4 避難所・津波避難ビル

本地域には、指定避難所\*が10箇所指定されています。

また、津波警報等が発表された際、津波到達予測時間内に高台まで辿り着くことが困難な場合の緊急的・一時的な避難施設として「津波避難ビル」を69箇所指定しています。

また、本地域には、46の自主防災組織があり、住民相互の防災活動に取り組んでいます（平成29年9月12日現在）。

- \* 指定避難所：災害発生時、被災者が一定期間滞在することができる施設として市が指定したもの。





表一指定避難所一覧



校区	施設名	避難可能人員	
		一時避難	避難所
金池	①金池小学校	886	443
金池	②J:COM ホルトホール大分	750	375
金池	③上野ヶ丘中学校	1,209	604
金池	④大分上野丘高等学校	1,280	640
金池	⑤コンパルホール	2,156	1,078
荷揚	⑥旧荷揚町小学校体育館	1075	537
長浜	⑦長浜小学校	886	443
中島	⑧旧中島小学校	886	443
中島	⑨浜町保育所	372	186
住吉	⑩碩田学園	1,923	961

表一地域の津波避難ビル指定状況一覧

合計

69

箇所

H29.5.25 現在

校区	名称	所在地（住所）	階数	海拔 (TP.m)
金池	駅南住宅みやびのもり	金池南一丁目8番13号	6階	6.1
金池	第2駅南住宅ふれあいのもり	顕徳町一丁目13番8号	8階	4.1
金池	コンパルホール	府内町一丁目5番38号	7階	3.6
金池	金池小学校	金池町三丁目1番90号	3階	3.7
金池	上野ヶ丘中学校	上野町4番5号	3階	5.6
金池	サンシティ顕徳	顕徳町一丁目6番1号	5階	4.5
金池	顕徳中央ビル	顕徳町二丁目2番38号	5階	4.3
金池	エクセレント・ラック	顕徳町三丁目3番24号	8階	5.7
金池	大分県立爽風館高等学校	上野丘一丁目11番14号	教室棟4階 体育館棟2階	24.8
金池	グリーンヒル金池町	金池町三丁目3番9号	15階	3.7
金池	プレシャス21	金池町四丁目5番17号	10階	3.6
金池	ホルトホール大分	金池南一丁目5番1号	4階	5.8
金池	アルファステイツ大分駅南	金池南二丁目10番12号	13階	6.5
金池	アーバンブレイム大手町	大手町一丁目1番23号	9階	4.1
金池	第2セイユウビル	金池町二丁目14番3号	9階	3.9
荷揚	大分市役所 本庁舎 第2庁舎	荷揚町2番31号	9階 6階	2.6
荷揚	大分県庁舎別館	府内町三丁目10番1号	9階	3
荷揚	城崎アヴェニュー	城崎町二丁目4番30号	9階	2.4
荷揚	グリーンヒル城崎式番館	城崎町二丁目5番16号	14階	2.7
長浜	アーバングリーン長浜	長浜町一丁目1番6号	8階	3.1
長浜	クレイン大手町	大手町三丁目3番39号	8階	3.2
長浜	カルフル錦町	錦町一丁目7番18号	3階	4.1
長浜	高山ビル	長浜町一丁目2番2号	6階	3.6
長浜	A Tヤマサキ	長浜町一丁目5番5号	5階	3.1
長浜	県営舞鶴住宅	舞鶴町1丁目10番10号 舞鶴町2丁目8番11号	1A-1 3階 B 5階	2.2
長浜	大分市消防局	舞鶴町一丁目1番1号	4階 (一部5階)	2.6
長浜	国際交流会館	錦町一丁目7番36号	4階	4.5
長浜	大分県庁舎新館	大手町三丁目1番1号	16階	3.1
長浜	コーポ青空	錦町一丁目12番2号	3階	4.2
長浜	NTT長浜第一ビル	長浜町三丁目15番10号	4階	3.8
長浜	サンハイツ大手町	大手町二丁目3番34号	8階	3.6
長浜	長浜小学校	長浜町二丁目6番32号	西校舎 2階 東校舎 3階	4.3

校区	名称	所在地（住所）	階数	海拔 (TP.m)
中島	ドゥペール・ワコー勢家	大字勢家1096番地の1	12階	2.7
中島	アーバンベルデ千代町	千代町三丁目2番8号	9階	2.8
中島	鈴木Ⅱ	千代町一丁目2番35号	10階	1.8
中島	市営新川町住宅	新川町二丁目10番50号	5階	2.1
中島	大分赤十字病院（管理棟）	千代町三丁目2番37号	6階	1.8
中島	大分合同庁舎	新川町二丁目1番36号	5階	2.9
中島	ニューリバー73	新川町二丁目9番35号	5階	2.1
中島	中島住宅2号棟	中島中央二丁目4番4号	3階	2.3
中島	中島住宅3号棟	中島中央二丁目4番1号	3階	2.3
中島	シティライフ中島	中島中央三丁目3番29号	8階	2
中島	マスターズ	中島西一丁目6番3号	5階	1.7
中島	芦刈司法ビル	中島西一丁目1番28号	4階	1.7
中島	中島ビル	中島西一丁目1番24号	7階	1.7
中島	ルネ中島	中島西三丁目3番1号	5階	1.8
中島	スターダスト中島	中島西三丁目3番17号	7階	1.5
中島	サーパス新川	新川町一丁目10番43号	10階	1.5
中島	ナイスモア中島	中島西三丁目7番9号	11階	1.6
中島	サニービル中島	中島中央一丁目1番10号	5階	2
中島	朝日プラザ中島中央	中島中央一丁目1番12号	8階	2.1
中島	エバーライフ中島	中島中央一丁目2番47号	11階	2.5
中島	グリーンヒル中島中央	中島中央一丁目2番41号	13階	2.5
中島	スペースファイブ	大字勢家1053番地の1	5階	3.6
中島	ソレイユガーデン	中島西二丁目2番15号	4階	1.6
中島	レスコ中島参番館 EAST	中島中央三丁目4-39	4階	2.2
中島	レスコ中島参番館 WEST	中島中央三丁目4-40	4階	2.2
中島	アルファー中島	中島中央三丁目2番21号	3階	2
中島	メルクマール中島	中島中央二丁目4番38号	3階	2.2
中島	グランドパレス新川	新川西4組の2	15階	2.4
住吉	アーバングリーン泉	泉町13番10号	6階	2.1
住吉	アーバングリーン豊町	豊町一丁目1番20号	8階	2
住吉	プライムコート中島	中島東三丁目1番25号	3階	2.2
住吉	弁天水資源再生センター	弁天四丁目1番1号	4階	1.9
住吉	グリーンヒル碩田	碩田町二丁目5番6号	11階	2
住吉	碩田ハイツ	碩田町二丁目2番27号	6階	1.9
住吉	大分市教育センター	碩田町三丁目5番11号	4階	1.8
住吉	碩田学園	碩田町二丁目5番60号	6階	2

表一 大分中央地域の自主防災組織一覧

校区	組織名	校区	組織名
金池	金池町4丁目防災会	長浜	長浜町1丁目防災会
金池	金池町5丁目防災会	長浜	長浜町2丁目防災会
金池	金池南1丁目防災会	長浜	長浜町3丁目防災会
金池	金池南2丁目・ 要町2町内会自主防災会	長浜	錦町1丁目防災会
金池	上野町防災会	長浜	錦町2丁目防災会
金池	上野丘1丁目町内自主防災会	長浜	錦町3丁目防災会
金池	上野丘2丁目防犯・防災会	長浜	舞鶴町防災会
金池	上野丘東防災会	長浜	大手町2・3丁目防災会
金池	上野丘西防災会	中島	中島中央自主防災会
金池	元町防災会	中島	中島西自主防災会
金池	顕徳町自主防災会	中島	千代町自主防災会
金池	桜ヶ丘町防災会	中島	住吉町自主防災会
金池	大手町1丁目防災会	中島	新川町自主防災会
金池	六坊町自主防災会	中島	新川西自主防災会
金池	府内町1・2丁目自主防災会	中島	芦崎防災会
荷揚	荷揚町防災会	中島	浜町東防災会
荷揚	都町1・2丁目防災会	中島	浜町北防災会
荷揚	都町3・4丁目防災会	中島	中島東自主防災会
荷揚	城崎町自治会防災会	住吉	豊町1丁目防災会
荷揚	中央町自主防災会	住吉	豊町2丁目町内会自主防災会
荷揚	高砂・寿町防災会	住吉	碩田町防災会
荷揚	末広町1丁目防災会	住吉	泉町防災会
荷揚	安心ネット府内防災会	住吉	弁天豊海防災会

## 5 市民による協働のまちづくりの取組

### (1) 地域まちづくり活性化事業

大分市では、地域課題解決のための事業を住民が主体的に考え、行政と協働で地域活性化を図る「地域まちづくり活性化事業」を進めています。大分中央地域では、「潤いとつながり 笑顔のまぶしいまちづくり」をテーマとして以下のような取組を行い、住民が地域のつながりや安心を実感できる地域づくりを目指しています。

## 大分中央公民館 潤いとつながり 笑顔のまぶしいまちづくり

### 地域の人が見えるまちづくり事業 大分中央地区地域情報紙「オーイタウン」

地域住民有志からなる編集委員が企画構成から取材までボランティアで制作活動を行っている。春・秋の年2回、地域の行事や取組を紹介する広報紙を発行・配布することにより地域情報の共有および住民相互の理解を深めている。(平成22年創刊、大分中央地域全世帯配布、発行部数23,500部)

### 安心・安全なまちづくり事業 校区防災訓練

近年増加する自然災害や今後想定される巨大地震に備え、校区単位の防災訓練を実施することにより、地域の防災力の向上を図っている。

#### 【長浜校区】

平成29年11月23日 長浜小学校  
 ◎自治会毎に一時避難後、最終避難場所(小学校)まで避難訓練  
 ◎消防団員より水害時の活動について講話  
 ◎保健所による災害時のペットの対応について講話  
 ◎簡易テント組立訓練  
 ◎非常用食料(アルファ米)を使用した炊き出し訓練

#### 【荷揚校区】

平成29年11月19日 旧荷揚町小学校  
 ◎自治会毎に一時避難後、最終避難場所(小学校)まで避難訓練  
 ◎大分中央消防署による防災講話  
 ◎応急救護訓練、災害時に役立つロープワーク  
 ◎非常用食料(アルファ米)を使用した炊き出し訓練

#### 【中島校区】

平成30年3月11日 旧中島小学校  
 ◎災害時における地域住民による避難所運営訓練

#### 【住吉校区】

平成30年3月11日 碩田学園  
 ◎避難誘導訓練、情報収集訓練、人員報告訓練、初期消火訓練、応急救護訓練、地震体験車、給水体験車、ペット同行避難訓練、「171」取扱い訓練、家具固定実技、防災用品展示、防災講話、炊き出し訓練

\*金池校区は、「地域づくり交付金事業」により一括交付を受けてまちづくり事業を実施している。

(2) ご近所の底力再生事業

地域の活性化のために自治会等が取り組む事業に対して市が助成金を交付する「ご近所の底力再生事業」は、大分中央地域においてはおおむね6割を超える自治会が活用しており、多くの事業が町内行事として定着しています。

校区	事業例
長浜校区	三世代交流観月会（錦町一丁目町内会）
荷揚校区	交流ひろば（城崎町自治会）、防災訓練（中央町自治会）
中島校区	ふれあいウォーキング&カレー食事会（新川町自治会）
住吉校区	三世代ふれあい餅つき（弁天町内会）

交流ひろば（城崎町自治会）



ふれあいウォーキング&カレー食事会（新川町自治会）



三世代ふれあい餅つき（弁天町内会）



(3) 地域づくり交付金

都市内分権の一環として、地域に一定の権限、財源を付与することにより、地域における自主的・自律的な地域課題の解決推進する「地域づくり交付金」制度では、ご近所の底力再生事業や地域まちづくり活性化事業などの補助事業を校区の様々な団体で構成された「まちづくり協議会」に一括で交付されています。

本地域では金池校区がモデル事業開始の平成25年度より導入しており、自治会を主体とした組織づくりにより構成団体間での情報共有や意思決定がこれまで以上にすみやかに進められています。また、新規事業として校区の夏まつりを実施したことにより、新旧住民の融和および世代間交流が促進されています。

他校区においては、地域を担う人材の不足、拠点施設の確保を含む環境整備などの根本的な課題を抱えるなかで、金池校区の事例を参考に、導入について協議検討を進めています。

金池まちづくり協議会 構成団体	
金池校区自治委員連絡協議会	金池校区老人会
ふるさとづくり運動推進協議会	金池消防分団
金池校区民生児童委員協議会	金池校区自主防災協議会
金池校区社会福祉協議会	交通安全協会金池支部
金池校区青少年健全育成協議会	金池小学校校外指導部 (PTA)
金池校区体育文化協会	ボランティア金池



【金池校区ふれあい夏まつり】



【校区いっせいがみ拾いキャンペーン】



【金池校区防災訓練】

---

#### (4) 地域のまつり・伝統行事等

本地域では、古くは「大分七夕まつり」や「おおいた食とくらしの祭典」など、近年では「おおいたサイクルフェス」や「大分市中央通り歩行者天国」など大分市を代表する行事が数多く開催されています。

一方、各校区においても公民館まつりや運動会、敬老会などの地域行事に加え、神社の夏季大祭や盆踊り、餅つきなどの伝統行事が盛んに行われています。

校区	地域行事・祭り
金池校区	若宮八幡社夏季大祭、いっせいゴミ拾い、ふれあい夏まつり、防災訓練、敬老会、校区運動会、グラウンドゴルフ大会
荷揚校区	防災訓練、敬老会、いっせいゴミ拾い
長浜校区	長濱神社夏季大祭、ながはまの夏、校区公民館まつり、防災訓練、敬老会、校区運動会
中島校区	恵美須神社夏季大祭 防災訓練、校区運動会
住吉校区	校区公民館まつり、防災訓練 グラウンドゴルフ大会 (弁天水資源再生センター屋上)



【長濱神社夏季大祭】



(5) 福祉

大分市内には45の校区・地区社会福祉協議会があり、地域の様々な団体と協力しながら地域の福祉問題・生活課題の解決に向けて日々取り組んでいます。

本地域には金池・荷揚・長浜・中島・住吉の5校区社協があり、高齢者への配食行事や介護状態の予防のための健康教室といった各校区特徴ある取組を行っています。小地域福祉ネットワーク活動が活発な地域も多いですが、核となる人材が育っていないなど体制に課題を抱える地域もあり、今後の人材育成が課題です。

(6) P T A

本地域には、金池小学校・長浜小学校・碩田学園・上野ヶ丘中学校の4つの単位PTAが組織されており、中央地区PTA協議会および大分市PTA連合会と連携・協力しながら、地域の子どもの安全確保や教育環境の充実に努めています。

(7) N P O ・ 市民活動団体等

本地域には、他の地域に比して多くのNPOや市民活動団体、ボランティアが活動しています。また、平成16年7月に府内5番街に大分市市民活動・消費生活センター(愛称：ライフパル)が開館し、市民活動の拠点として多くの団体が利用しています。

	大分市	大分中央地域
主たる事務所を置くNPO法人	234 法人	138 法人
市民活動団体(登録数)	212 団体	116 団体
ボランティア団体(登録数)	74 団体	42 団体

【NPO「おおいた子ども劇場」】

子どもにとって心と体を育てる大切な営みである「あそび」を、プロが演じる生の舞台の鑑賞やキャンプなどの手づくりの催しを通じて体験する活動をしています。



【大分駅南まちづくり協議会】

自治会や小中学校、住民など地域組織だけでなく、文化施設、企業なども構成員として参加した協議会で、生活する人、働く人、学生等が一体となり、まちづくりを進めています。

校区にとらわれず大分駅南周辺の団体で組織され、新たなコミュニティを形成しています。

## 第2章 地域の現状

---

### (8) スポーツ

大分中央地域は、小中学校の体育館・グラウンドの他、コンパルホールやJ:COM ホルトホール大分の体育室などスポーツができる施設が多く、スポーツを楽しめる環境が充実しています。

また、金池校区には、だれもが身近な場所で気軽にスポーツに参画できる総合型地域スポーツクラブとして「ひしのみクラブ」が運営されており、地域全体のスポーツ活動の推進を担っていますが、活動の拠点整備や会員の拡充が課題となっています。

体育祭やウォーキング大会など各校区のスポーツ活動をさらに充実させ、若い世代の参加を促す取組が必要です。



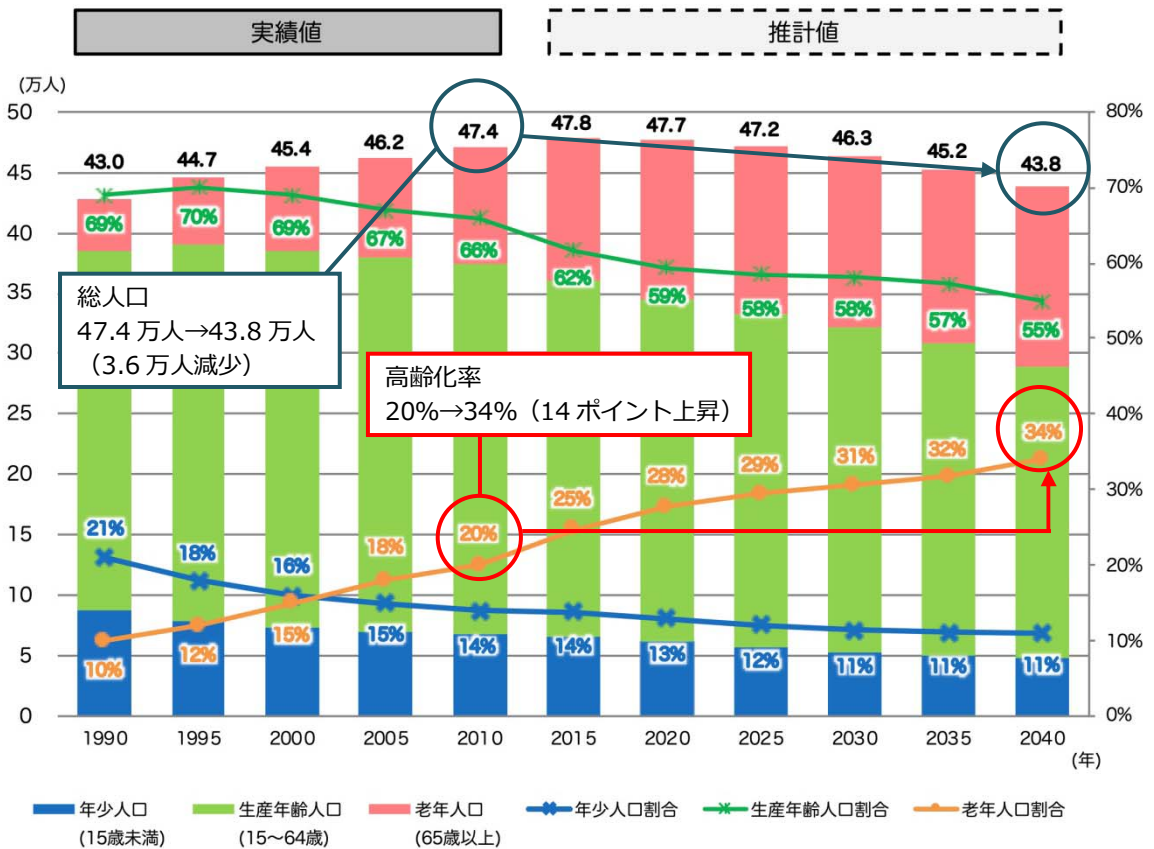
第3章 人口推移と将来推計

1 大分市の人口推移と将来推計

(1) 総人口・年齢3区分別人口の推計

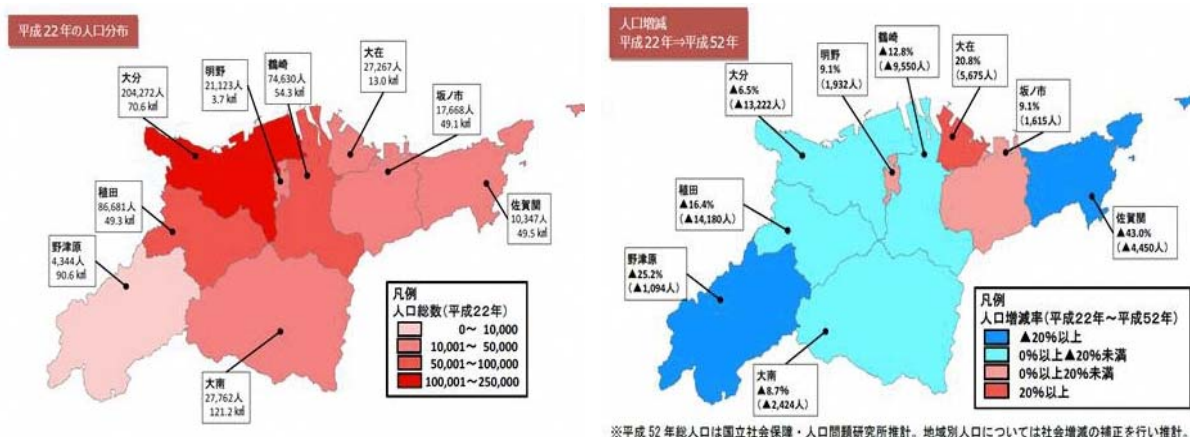
2010（平成22）年の国勢調査を基本に、2013（平成25）年3月に発表された国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の数値を用い、将来人口を推計しています。

社人研の推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2010（平成22）年から2040（平成52）年までの30年間で、本市の総人口は約3.6万人、生産年齢人口（15歳～64歳）は約6.5万人減少すると予測されています。一方、老年人口（65歳以上）は約5.3万人増加し、高齢化率は34%に達すると予測されています。



## (2) 地域別の将来人口

本市の総人口の減少に伴い、多くの地域で大きな人口増加は見込めない状況です。大分中央地域を含む大分地区全体においても、2010（平成22）年から2040（平成52年）までの30年間で、▲13,222人、▲6.5%の人口減少が予測されます。

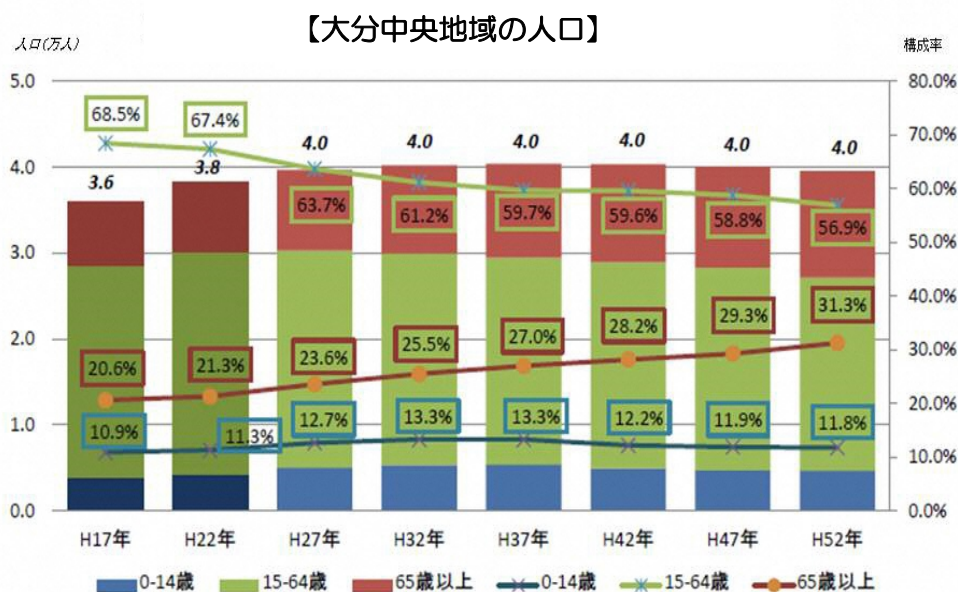


## 2 大分中央地域の人口推移と将来推計

大分中央地域の人口は、市の総人口の約8.1%を占めています。30年後の地域内の人口は、2010（平成22年）時点と同程度を維持するものと見込まれています。

年齢3区分別にみると、生産年齢人口は減少傾向にあり、老年人口は増加する見込みですが、大分市全体と比較すると、緩やかな推移となる見込みです。

大分駅南側の土地区画整理事業が終了したことにより、多くのアパートやマンションが建設されており、若者をはじめ地域内に人口が転入しています。



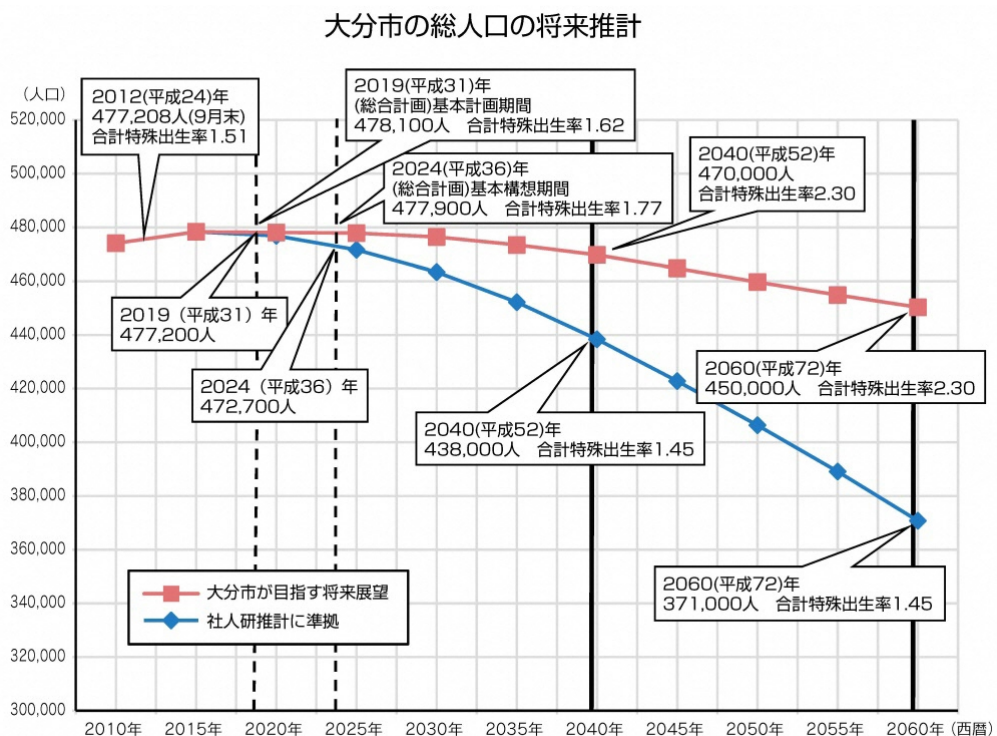
### 3 大分市の人口ビジョン

本市においては、国や大分県の将来展望を勘案するなか、県都大分市としての責任を果たすため、自然増については、結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現に向けた取組のさらなる充実を図ることにより、2030（平成42）年までに合計特殊出生率を2.0程度まで高め、2040（平成52）年には2.3程度まで高めることとします。

また、社会増については、今後も東京圏を中心とした大都市への人口流出が懸念されることから、大分県全体を鑑みるなか、大分県外から、特に東京圏を中心とした大都市からの転入者を増やすことを目指していきます。

このように自然増対策と社会増対策に取り組むことにより、人口減少に歯止めがかかり、2060（平成72）年の本市の人口は、45万人程度となります。

#### 大分市が目指す将来展望 2060（平成72）年 人口45万人程度



## 第4章 地域の課題分析

### 1 SWOT 分析\*による地域の現状分析

大分中央地域の特性を把握し、今後のまちづくりの方向性を導くための手法としてSWOT分析を行い、以下の通りに整理しました。

\*SWOT 分析とは

地域特性を内部環境、外部環境で 4 つのカテゴリー「**S (強み)・W (弱み)・O (機会)・T (脅威)**」に分類整理する方法です。

多岐にわたる意見を体系化するのに適しており、地域の持つ強みや弱み、その地域が置かれている環境などを掘り上げるのに有効なツールです。



### 強み(Strength)

#### ○有意義な地域のコミュニティが存在

- ・校区公民館、自治公民館等の交流場所がある。
- ・さまざまな行事やふれあい活動を行っている。
- ・地縁型、テーマ型コミュニティ両方存在する。

#### ○活発な商業・サービス業

- ・大分のビジネスの中心地。
- ・さまざまな商業・サービス業が集積。
- ・各商店街組織が連携し活動している。

#### ○食や自然、歴史文化等の恵まれた観光資源

- ・食の豊かさ、安くておいしい。
- ・いこいの道、上野の森など緑の多い環境。
- ・海、川、森のほかにも歴史資源がある。
- ・買い物、食事をする場所や文化資源が多い。
- ・街をゆっくり歩いて過ごすことができる。
- ・宗麟公の歴史文化。
- ・半径 1.5km 内に古代・中世・近世の歴史と文化が存在し、全国的にも非常に珍しい地域。

#### ○便利で安心な生活環境

- ・子育て支援施設や情報交換場所など充実。
- ・地域包括ケアシステムが整備されている。
- ・救急車の現地到着がスムーズ等、安心度は高い。
- ・都市に必要なインフラが殆ど整備されており、利便性の高い生活が実現。
- ・市内ワンコインバスが走行している。
- ・子どもの見守り活動の取組が全国トップクラス。
- ・防災情報を早く知ることが出来ている。
- ・地域包括支援センターはなくてはならない存在。
- ・自転車の駐輪場の整備で街もきれいになった。

#### ○教育、文化施設の充実

- ・小中一貫の素晴らしい学校ができ環境は整った。
- ・J:COM ホルトホール大分、コンパルホール、アートプラザ、県市美術館等の文化・芸術施設が充実。
- ・美術館について、県と市が連携を組んでいる。

## 機会 (Opportunity)

### ○地域コミュニティへの参加機会の創出

- ・地域の諸行事への新しい参加者の開拓。
- ・小地域福祉ネットワークにおいて、町内ごとに独自のアイデアを生かして活動。
- ・中高生が地域コミュニティに入る機会が必要。
- ・公設地方卸売市場が毎月第2土曜日に開催する市場市民感謝デーの継続。

### ○まちづくりの在り方

- ・次世代の人材、ビジネスを育てる長期的な投資。
- ・回遊できるまちの広がりが重要。  
(一体感の醸成)
- ・企業による地域貢献の取組の必要性。

### ○今後の子育てを支える環境づくり

- ・こどもルーム、児童育成クラブ等の施設拡充、指導員の増員等が必要。
- ・子どもの発達に応じて親子で遊べる場の整備。
- ・市外転入時の手続等、子育てに関する情報網の整備（情報の一本化）が必要。

### ○防災対策の強化

- ・「自分たちの町は自分たちで守る」ことが重要。
- ・中央公民館、府内こどもルーム、避難所を含む多機能建築物の実現が切望されている。
- ・帰宅困難者対策等を含めた防災減災対策。
- ・携帯を持たない子ども達の緊急時の連絡対応のため、公共施設への公衆電話が必要。

### ○教育環境の充実

- ・大分県立芸術文化短期大学の再整備。
- ・文化施設等、県立、市立の領域を越えて連携を。
- ・人権教育の推進

### ○スポーツによるにぎわい魅力づくり

- ・ラグビーワールドカップ開催にともなうにぎわいの創出に期待。
- ・グランドゴルフや健康体操等地域で個別に活動しているスポーツの充実。

### ○求められる女性の社会進出

- ・PTA 地域活動などにもっと男性が参加するような後押しで、女性のさらなる社会進出。

### ○資源を生かした観光振興の促進

- ・アートを活かした観光振興に向け文化資源の活性化。
- ・大友氏遺跡、府内城址など文化教育、観光を目的とした公園や駐車場の整備。
- ・大分城址公園や大友氏遺跡の活用と連携。
- ・大分の魅力を国外に発信しインバウンド促進。

### ○生活環境の利便性向上

- ・自転車の一時駐輪といった、地域の人が買い物に出てきやすい環境づくり。
- ・総合バスターミナル整備。
- ・中島錦町線の全線開通で大分城址公園と大友氏遺跡をつなぐ新たな回遊が生まれる。
- ・新川の住環境整備等の再計画に結び付けていきたい。

### ○地域特性を生かしたにぎわいづくり

- ・「まちなかバーゲン」は一体感があり、活性化やにぎわいづくりに貢献している。
- ・郊外型商業・サービス展開とは差別化されたコア地域にすることで「商都復活」は可能。
- ・府内城～遊歩公園、大友氏遺跡～上野ヶ丘の古代国府を巡る回廊を整備し、観光資源化。
- ・トキハ、アミュプラザ、商店街が一緒になって盛り上げていくことが大事。

### ○各種規格道路の改善の必要性

- ・自転車道路や、親子、高齢者が利用しやすい公共交通の充実。
- ・親子が自転車で出かけられる道路の整備。
- ・危険防止や都市景観の面からも道路の無電柱化の促進。

### ○企業誘致、雇用の改善の促進について

- ・企業立地条件や労働力等の優位性を生かした企業誘致、創業支援の推進。
- ・県外からも雇用が見込めそうな新事業や、中小企業の職場環境改善事業等に支援を。

## 弱み(Weakness)

### ○地域のつながり、リーダー不足

- ・地域活動の中心になるリーダーの育成が進んでいない。
- ・地域活動に関心がない人が増えた。
- ・若年層との交流が不足している。
- ・災害時要支援者への対策が進まない。
- ・高齢者の集う場所が少ない。
- ・自治会加入促進をもっと積極的に。
- ・校区公民館がない校区がある。
- ・地域活動のメンバーが高齢化、固定化。
- ・大人から子どもまで地域が一体となった活動が難しい。
- ・学校と地域の連携が難しくなっている。

### ○少子高齢化

- ・地域福祉活動への一般市民の参加が進まない。
- ・校区社会福祉協議会の体制が脆弱。
- ・県平均よりも低い合計特殊出生率。
- ・他の中核市より急速に増加する高齢者数。

### ○都市基盤整備

- ・大分以南の日豊線の複線化、バスの循環路線化が進まない。
- ・まちなかを自転車で移動出来ず、不便になった。
- ・公共下水道が未接続の世帯が残っている。
- ・狭隘道路対策が進んでいない。

### ○公共施設等の不足

- ・認可保育所が不足している。
- ・独居高齢者、生活困難者等が利用できる施設が不足。
- ・中央公民館は現在はコンパルホールに間借り状態なので、地域活動の取組が制限される。
- ・水泳プールが少ない。
- ・公園緑地が少ない。

### ○都市景観

- ・大分駅周辺に看板が多く、景観が悪くなっている。

### ○活かされていない観光資源

- ・府内城跡や大友館、その他旧跡が残るが、観光の振興、にぎわい創出につながっていない。
- ・豊かな食文化があるがブランド化が不十分。

### ○公設地方卸売市場

- ・水産部門のサービスデーはなくなった。
- ・公設地方卸売市場は、特定業者が主流で利用しにくい。

### ○就労支援

- ・働く場の創出等、就労支援の取組が弱い。

### ○女性の社会参画不足

- ・市職員、市議会、各種委員会はじめ、女性の比率はまだ低い。

## 脅威(Threat)

### ○自然災害対策の遅れに伴う危険性

- ・防災無線の配備が遅れ、非常時の情報伝達力が弱い。
- ・高齢化により自主防災会の力が低下。
- ・災害予防対策（家屋の耐震化、避難場所、危険ブロック塀、避難計画等）
- ・住民の危機管理意識が薄い。
- ・消防団員の定数不足。

### ○一極集中社会に伴う弊害

- ・都市への人口、機能の一極集中による交通渋滞や環境汚染問題、事件事故の多発が予想される。

### ○人権啓発

- ・人権啓発への取組は複雑さ、多様さにより啓発が浸透しにくい。

### ○教育

- ・教職員の負担が大幅に増大している。

### ○住環境の低下における潜在的リスクの可能性

- ・場外舟券売場の検討など、居住環境への潜在的リスク（住宅地価格下落リスクなど）

### ○高齢化社会に伴う負の要因

- ・高齢者急増で地域の医療体制が不足する。



## 2 地域の将来に向けた魅力・課題の整理

1を踏まえ、大分中央地域の将来に向けた取組を検討するため、地域の魅力、課題を以下のように整理しました。

### 大分中央地域の魅力

#### ○基盤整備が整った利便性の高い生活環境

大分駅や路線バス等の公共交通、幹線道路などインフラの整備が充実し、居住者のみでなく地域外からの来訪者にも便利で快適なまちです。

#### ○緑豊かでにぎわいあふれる商都

上野の森や大分いこいの道など都市部でありながら自然を感じられる環境と、にぎわいのある商店街・商業施設が共存しています。

#### ○歴史・文化資源に恵まれ施設も充実した教育環境

小中一貫教育校として碩田学園が新設され、また、歴史文化を身近に感じられる場所や美術館などの文化施設が多数存在し、教育環境が整っています。

### 大分中央地域の課題

#### ○地域の将来を担う人材不足

自治会や自主防災会などの地域組織のリーダーが高齢化していますが、次世代の担い手育成が進んでおらず、地域コミュニティの弱体化が懸念されます。

#### ○中心市街地とその周辺エリアでの地域差

中心部のインフラ整備が進む一方、狭隘道路や建物が密集した地域などがあり、地域全体の活性化にはバランスのとれた整備が課題です。

#### ○恵まれた観光資源の活用・PR不足

大友氏遺跡、大分城址公園、美術館など観光資源は多数あるものの、分かりやすい歴史の紹介や観光ルート整備などが不足しています。

## 第5章 地域のあるべき姿(将来像)

### ○大分中央地域の将来像

今後、少子高齢化がさらに進行し、本市の人口も減少に転じることが予想される中、福祉など市民の身近な施策の充実や地域コミュニティの活性化、効率的な行政運営など諸課題への対応が求められています。

このようななか、「大分中央地域ビジョン会議」において、地域の魅力の向上や課題解決に向けた取組を検討し、地域のさらなる発展のために、地域のあるべき姿(将来像)を以下のとおり決定しました。

### <大分中央地域の将来像(コンセプト)>

**歴史・文化と商都のにぎわいが融合する回遊性の高いまちを、  
幅広い世代・地区で育む中央地域**

#### 将来像への思い

大分中央地域は、都心型の居住環境と、歴史・文化および商業圏が融合した地域です。また、それぞれ特徴を持つ金池・荷揚・長浜・中島・住吉の5校区に、幅広い世代が居住し、行き交うまちです。

地域全体の回遊性を高め、よりにぎわい・活力あるまちを地域住民一体となり、育んでいこうという思いで将来像を決定しました。

## 第6章 将来像の実現に向けた取組

### 1 これからのまちづくりに向けた市長への提言

これまで、地域まちづくりビジョン策定の取組を通じ、改めて自分たちの住む地域を見直すとともに、魅力あふれ活力に富んだ地域をつくるために、地域と行政が一緒になってどのような取組を進めていくべきか議論を深めてきました。

今後、将来像実現に向けて地域と行政が一緒になって各種取組を進めていくにあたって、以下のとおり市長に提言いたします。

### 市長への提言

#### 提言1 地域全体の回遊性の向上

本地域は、住民だけでなく、通勤・通学者や観光客など様々な人が行き交う地域です。また、中心市街地の回遊、大友氏遺跡や大分城址公園を含む歴史観光ルート、その他碩田学園や公設地方卸売市場を含む広域の回遊など、多様な回遊ルートが存在します。だれもが地域全体の回遊性が高いと感じる、訪れても楽しい快適なまちづくりを求めます。

#### 提言2 コミュニティの深化

コミュニティの活性化のためには、住民同士の交流を深める仕掛けが必要です。特に、若者を巻き込んだ取組を進めることで、次世代を担うリーダーを育成することが重要です。

#### 提言3 安全・安心なまちづくり

にぎわいと活力ある地域は、誰もが安心して暮らせる安全で安心な社会が下支えとなって成り立つものです。地域の防災組織体制を強化し、避難場所の整備をするなど、万が一の災害時も対応できる環境づくりを求めます。

## 2 提言に基づく取組事業提案の一覧

地域ビジョン会議では、前段の提言に基づき、今後取り組むべきことについて、検討を行いました。

### 1. 地域全体の回遊性の向上

#### ①回遊性の向上のためのルート整備

##### 1. 周遊観光ルートの整備

大分城址公園・大友氏遺跡を結ぶ周遊観光ルートとして、遊歩公園及び開通した中島錦町線を活用する。そのためには、分かりやすい彫刻の案内等の設置や、公園内の遊歩道・トイレの整備等を行い、安全で楽しく散歩ができる環境をつくる。また、合わせて、外堀西尾線を整備することで祝祭広場へルートをつなげる。

##### 2. 鉄道残存敷の活用

大分駅から大友氏遺跡までを歴史・文化に触れられ、徒歩だけでなく自転車も可能な回廊とする。

##### 3. 歩いて楽しいまちづくり

大分駅～鉄道残存敷～大友氏遺跡～大分城址公園をめぐる遊歩道や自転車道など、大分の歴史に触れる散策ルートとして整備するとともに、徒歩での散策を補完するため、循環バス等の公共交通機関の利便性向上が必要。合わせて、公募等により、親しまれるルート名をつける。

##### 4. バランスのとれたまちづくり

狭隘道路の解消など都市基盤をバランスよく整備する。

#### ②拠点となる施設の整備

##### 1. 遊歩公園の整備・活用

遊歩公園はまちなかの主要な動線に資するべきものであり、また、歴史・文化的な背景を持ち合わせた公園である。現在は、インフラ整備ができておらず公園がうまく活用されていないため、構造面も含め抜本的な検討をする必要がある。

##### 2. 大分城址公園の整備・活用

歴史・文化を伝える観光の拠点として整備・PRを行う。大手公園との一体的な利用も検討する。

##### 3. 大友氏遺跡歴史公園の整備・活用

来街者だけでなく地域住民も歴史が学べる施設として整備・活用する。

##### 4. 祝祭広場の整備・活用

地域住民と来街者が集う広場として整備し、にぎわいや地域交流の拠点とする。

##### 5. 荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用

荷揚町小学校跡地を民間活力も活用した複合施設に整備する。

中島小学校跡地に、子どもも高齢者も利用でき、屋内外で遊べる総合運動公園を整備する。

### 6. 公設地方卸売市場の利活用促進

生鮮食品等の流通拠点であり、広大なスペースを持つ市場のメリットを生かして、民間活力も活用しながら、水産部門の市民感謝デーの復活等イベントや広報事業を行い、地域北部にもにぎわいを創出する。

### 7. 観光施設の誘致

子どもの育成に寄与し、収益性確保もでき観光目的にもなるような魅力的な歴史・文化学習施設を、低未利用地等に誘致する。

## ③回遊ルートの活用

### 1. 歴史・史跡を生かした観光の促進

古代の豊後国府、中世は大友氏、近世は府内城と、地域内にさまざまな時代の歴史・文化が存在する。それらを分かりやすくストーリー化し、観光ルートとして紹介・多言語での情報発信を行う。

### 2. 歴史・史跡を生かした観光ツアー

官民一体となった受入体制をつくり、市の名所・史跡を巡るツアーを実施する（県外観光客・インバウンドも対応）。合わせて、ボランティアガイドを育成する。

## 2. コミュニティの深化

### ①多世代交流にむけた取組

#### 1. 荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用(再掲)

荷揚町小学校跡地を、中央公民館機能やこどもルーム等に利用できる複合施設に整備し、地域交流の場とする。

中島小学校跡地に、子どもも高齢者も利用できる総合運動公園を整備する。

#### 2. 若者が地域行事に参加できる体制づくり

「青年部」などの肩書をつけることや、「市民いっせいごみ拾い」などへ学校と連携しての参加の呼びかけ等を行い、必然的に参加する仕組みと雰囲気をつくる。

#### 3. 地域の伝統行事の活用

校区・世代間の交流やにぎわいの創出に、伝統行事を活用する。たとえば、個別に実施している蛭子祭について、実行委員会を設立し「六蛭子祭」として復活させ、商業施設とも連携したイベントへ広げる。また、イベント実施には祝祭広場を活用して地域内外に発信する

#### 4. 史跡サポーターの育成

古墳や大友氏遺跡など豊富な史跡があるので、子どもに歴史を教え、子どもが案内できるような環境をつくる（外国人観光客にも対応できるように）。

#### 5. 子ども食堂の運営

校区ボランティアを中心として校区社協・自治会等が連携し、食堂の運営のほか読み聞かせ等のイベントを実施し、子どもも運営に参加してもらう。子どもだけでなく一人暮らしの高齢者等も交え多世代の交流を深める。

## ②次世代の地域リーダー育成

### 1. 次世代の地域リーダー育成

地域リーダーとなるにはまず地域に入ることが重要なので、親子で森の散策など、若い人や子どもを対象とした地域行事を増やし、参加を促進することできっかけをつくる。

小学校高学年・中学生・高校生を対象として、校区単位で地域の魅力・課題発見ワークショップを開催する。

## 3. 安全・安心なまちづくり

### ①子どもを中心とした防災・防犯体制の強化

#### 1. 防災・防犯意識の向上

J:COM ホルトホール大分などを利用して地域・行政一体となって全市一斉防災訓練を行い、子どもと一緒に避難場所の確認等を行う。合わせて、防犯の知識を学ぶ取組を行う。

#### 2. 災害情報の共有システムづくり

災害情報などを行政、地域、学校、保護者が共有できるシステムを構築する。

#### 3. 若い防災リーダーの育成

高齢者のみが防災訓練や計画を行っているため、地域と行政が連携して、高齢者と小学生と一緒に地域を回るなど、若い人の参加を促進する活動を行う。

### ②防災施設・ルートの整備

#### 1. 荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用(再掲)

荷揚町小学校跡地を、中央公民館機能等のほか防災機能も有した複合施設に整備する。

中島小学校跡地に、避難場所としての活用も見据えた総合運動公園を整備する。

#### 2. 避難しやすいルート整備

子どもたちの登下校中に津波警報が発表された場合等、緊急の避難をスムーズに行うため、避難所・津波避難ビルおよび避難ルートの整備を行う。

### 3 まちづくりの役割分担

前段の取組事業について、個人でできること、地域でできること、行政に望むことに整理しました。それぞれ役割分担を行い、行政と連携・協力したまちづくりを進めていきます。

#### 1. 地域全体の回遊性の向上

①回遊性の向上のためのルート整備		
周遊観光ルートの整備 鉄道残存敷の活用 歩いて楽しいまちづくり バランスのとれたまちづくり		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの周知、参加</li> <li>・イベント等へ参加</li> <li>・ボランティア等へ参加</li> <li>・観光ルートの提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート周辺の美化活動</li> <li>・ボランティア組織の運営</li> <li>・大分駅等で観光案内</li> <li>・ウォーキングコース等の提案</li> <li>・イベント企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット作成やホームページ等、観光ルートの広報</li> <li>・観光スポットの案内板整備</li> <li>・残存敷を活用した広場等の整備</li> <li>・ルートに係る基盤整備</li> <li>・LRT や自動運転車両など、新たな公共交通の調査、研究</li> </ul>

②拠点となる施設の整備		
遊歩公園の整備・活用 大分城址公園の整備・活用 大友氏遺跡歴史公園の整備・活用 祝祭広場の整備・活用 荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用 公設地方卸売市場の利活用促進 観光施設の誘致		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々にイベント参加等の働きかけ</li> <li>・施設運営への意見</li> <li>・イベントの提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩公園のあり方について検討</li> <li>・活用について意見交換会の実施</li> <li>・イベント実施の組織設立</li> <li>・清掃ボランティア活動</li> <li>・住民交流会の開催</li> <li>・市場や観光施設の検討会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の整備を検討、実施</li> <li>・イベント、講座等へ講師派遣</li> <li>・ホームページ等で地域活動の紹介</li> <li>・市場や観光施設の可能性調査、検討会議等の実施</li> </ul>

③回遊ルートの活用		
歴史・史跡を生かした観光の促進 歴史・史跡を生かした観光ツアー		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大友氏、府内藩等の歴史学習</li> <li>・ツアー参加へ働きかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史をつなげたストーリー作り</li> <li>・ツアー客の受入体制整備</li> <li>・市場や観光施設の検討会議へ参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーリーに基づいた事業実施、情報発信</li> <li>・ツアーの構築、情報発信</li> </ul>

## 2. コミュニティの深化

### ① 多世代交流にむけた取組

荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用(※再掲) 若者が地域行事に参加できる体制づくり  
地域の伝統行事の活用 史跡サポーターの育成 子ども食堂の運営

私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運営の補助</li> <li>• 自治会や学校への呼びかけ</li> <li>• 実行委員会の設立</li> <li>• 史跡サポータースキルの学習</li> <li>• 子どもへの周知</li> <li>• ワークショップの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会や子ども会等連携した活動の実施</li> <li>• 自治会だより等を通じた行事参加の呼びかけ</li> <li>• 商店街等と連携した行事実施</li> <li>• 史跡見学ルートを作成</li> <li>• 子ども食堂の運営サポートや子ども食堂の開催場所の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホームページなどでの活動の情報発信</li> <li>• 学校サイドへの行事協力要請</li> <li>• 地域行事に対し補助金等の活動支援</li> </ul>

### ② 次世代の地域リーダー育成

次世代の地域リーダー育成

私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>• アイディア提案</li> <li>• 講師紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行事の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行事のサポート、情報発信</li> </ul>

## 3. 安全・安心なまちづくり

### ① 子どもを中心とした防災・防犯体制の強化

防災・防犯意識の向上 災害情報の共有システムづくり 若い防災リーダーの育成

私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 訓練の参加呼びかけ</li> <li>• 訓練の運営補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会等連携し訓練の実施</li> <li>• リーダー育成に向けた活動の企画</li> <li>• 災害時の助け合い体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災訓練等への参加の呼びかけ、情報発信</li> <li>• 避難マップ作成</li> <li>• 地域と連携したシステム整備</li> </ul>

### ② 防災施設・ルートの整備

荷揚町小学校・中島小学校跡地の利活用(※再掲) 避難しやすいルート整備

私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災訓練への参加</li> <li>• 子どもへ避難ルート周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災訓練の実施</li> <li>• 避難ルートマップの作成</li> <li>• 避難場所等の提供</li> <li>• 避難場所の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難場所等の確保</li> <li>• ルートマップ作成に係る支援</li> <li>• 避難場所、ルートの情報発信</li> </ul>



#### 4 まちづくりの整理図・将来図

これまでに整理した地域の魅力・課題、大分市における各種計画による取組状況、提言に基づく提案取組事業を図に整理しました。

##### 整理図・位置図の色分けについて

黄色の枠…魅力と課題

緑の枠…各種計画の取組

ピンクの枠…提案取組事業

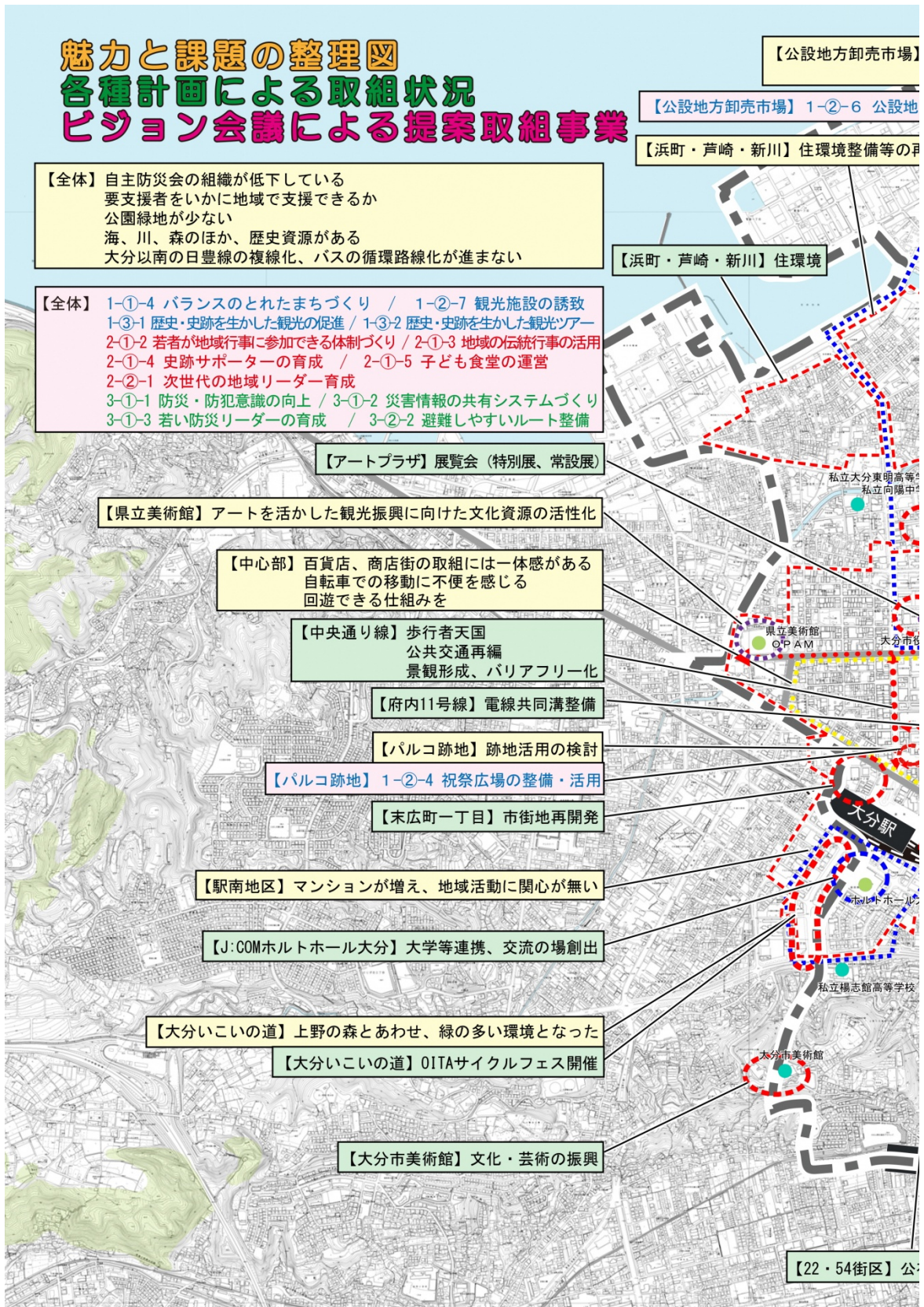
※ピンクの枠内の文字の色分けは、提言1～3に沿っています。

青…提言1 地域全体の回遊性の向上

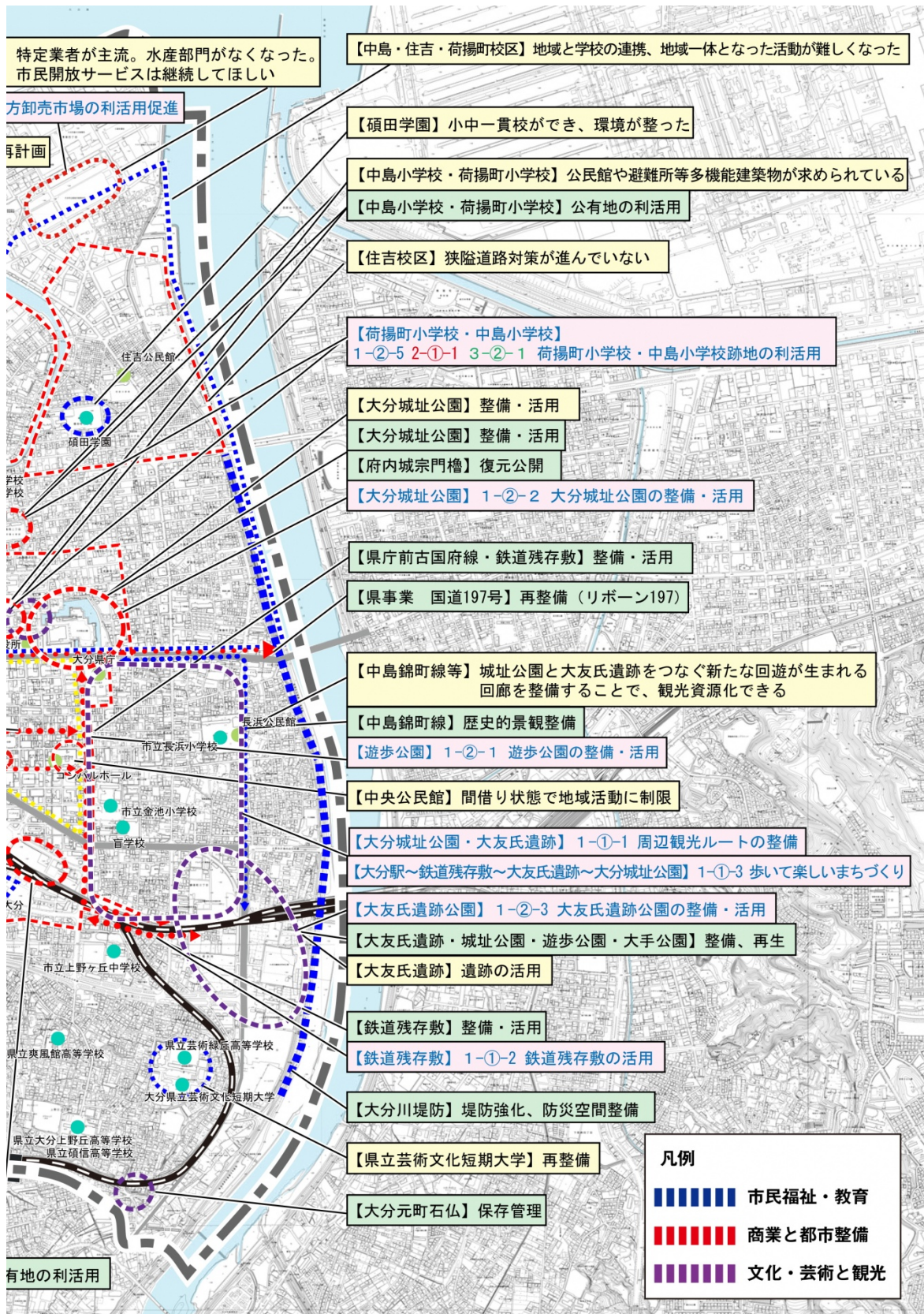
赤…提言2 コミュニティの深化

緑…提言3 安全・安心なまちづくり

# 魅力と課題の整理図 各種計画による取組状況 ビジョン会議による提案取組事業



図一まちづくりの整理図・将来図



---

## 資料編

1. 策定経過
2. 大分中央地域ビジョン会議委員、顧問および事務局名簿
3. 大分市地域ビジョン会議設置要綱

## 1 策定経過

年・月	取 組 内 容
平成 29 年 5 月 11 日	大分中央地域ビジョン会議 準備会議 大分中央地域ビジョン会議委員の委嘱
6 月 1 日	大分中央地域ビジョン会議 第 1 回会議 大分中央地域ビジョン会議顧問の参画
7 月 26 日	大分中央地域ビジョン会議 第 2 回会議
10 月 18 日	大分中央地域ビジョン会議 第 3 回会議
11 月 29 日	大分中央地域ビジョン会議 第 4 回会議
平成 30 年 2 月 9 日	大分中央地域ビジョン会議 第 5 回会議
5 月 17 日	大分中央地域ビジョン会議 第 6 回会議
7 月 2 日	大分市地域まちづくりビジョン報告会 市長へ提言

## 2 大分中央地域ビジョン会議委員、顧問および事務局名簿

### ○大分中央地域ビジョン会議委員名簿

※敬称略

役 職	氏 名	所 属 等
会長	林 信一郎	金池校区会長
副会長	瑞木 啓司	荷揚校区社会福祉協議会会長
	中村 信幸	荷揚校区会長
	姫野 敏朗	長浜校区会長
	川上 克規	中島校区会長
	村山 一記	住吉校区会長
	津高 教子	金池校区民生委員児童委員協議会会長
	三浦 賀一郎	長浜校区老人クラブ会長
	井戸田 剛	中島校区青少年健全育成連絡協議会会長
	分藤 貴弘	大分市PTA連合会会長
	林 美紀	大分市青少年補導員連絡協議会会長
	是永 幹夫	大分駅南まちづくり協議会事務局長
	石井 直子	株式会社コンベンションリンケージ 大分支社統括マネージャー
	小林 恭子	中島校区体育協会評議員
	工藤 康恵	NPO法人おおいた子ども劇場運営委員
	三浦 宏樹	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 財団本部参与兼アーツラボラトリー室室長
	矢野 利幸	大分市商店街連合会会長
	児玉 憲明	大分都心まちづくり委員会
	吉本 直樹	株式会社トキハ総務部長
	工藤 真治	株式会社JR大分シティ常務取締役

※委員の所属等は委嘱時のもの

### ○大分中央地域ビジョン会議 顧問 4 名

※敬称略

役 職	氏 名	所 属 等
	秦野 恭義	大分市議会議員
	井手口 良一	大分市議会議員
	岩崎 貴博	大分市議会議員
	穴見 憲昭	大分市議会議員

## ○大分中央地域ビジョン会議 事務局

役 職	氏 名	所 属 等
事務局長	永松 薫	企画部 審議監
事務局次長	田辺 義秀	市民部 大分中央公民館 館長
	安東 孝浩 (林 浩一郎)	市民部 市民協働推進課 参事 (市民部 市民協働推進課 政策監)
	辻 拓郎	市民部 大分中央公民館 主任
	利根 由晃	都市計画部 まちなみ整備課 参事補
	兼澤 慎二 (太田 恵)	土木建築部 建築課 参事 (土木建築部 建築課 参事補)
	後 竜太郎	商工労働観光部 商工労政課 参事補
	佐藤 忍	農林水産部 農政課 専門員
	和田 勝美 (廣田 暁則)	企画部 企画課 参事補 (企画部 企画課 参事補)
	松本 明子	企画部 企画課 主任

※ ( ) 内の標記は前任者を記載。また、構成員の所属は選任時のもの

---

### 3 大分市地域ビジョン会議設置要綱

(設置)

第1条 市民が思い描く地域の未来像であり、地域の特性を活かしたまちづくりの方向性についての市民の提言となる地域まちづくりビジョンを策定するため、地域ごとに地域ビジョン会議(以下「ビジョン会議」という。)を設置する。

(名称及び設置地域)

第2条 ビジョン会議の名称及び設置地域は、別表のとおりとする。

(所掌事項)

第3条 ビジョン会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)地域まちづくりビジョンの策定に関すること。
- (2)地域まちづくりビジョンの市長への報告に関すること。
- (3)その他地域まちづくりビジョンの策定に関し市長が必要と認める事項

(組織)

第4条 ビジョン会議の委員は、25人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が参画依頼する。

- (1)各種団体の代表者
- (2)校区会長
- (3)学識経験を有する者
- (4)その他市長が必要と認める者

(参画依頼の期間)

第5条 参画依頼の期間は、参画依頼の日から第3条に掲げる所掌事項が終了する日までとする。

(会長及び副会長)

第6条 ビジョン会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、ビジョン会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。



(会議)

第7条 ビジョン会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

4 会議は、原則公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は、会議に諮って、これを公開しないことができる。

(部会)

第8条 ビジョン会議は、地域内における特定の地区及び事項について調査、研究等を行うための部会を設置することができる。

2 部会は、会長の指名した委員を部会員として組織する。

3 部会に部会長を置き、会長の指名する委員をもって充てる。

(顧問)

第9条 ビジョン会議ごとに顧問を置くことができる。

2 顧問は、市議会議員とする。

3 顧問は、ビジョン会議からの要請に基づき、市長が参画を依頼する。

4 顧問は、ビジョン会議に対し助言を行うことができる。

(報償金等)

第10条 委員に対する報償金等は、予算の範囲内で、市長が決定し、これを支払うことができる。

(事務局)

第11条 ビジョン会議の庶務を処理するため、ビジョン会議ごとに事務局を置く。

2 事務局の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、ビジョン会議の運営について必要な事項は、会長がビジョン会議に諮って定める。

---

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成29年4月17日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、第3条に掲げる所掌事項が終了する日限り、その効力を失う。

別表(第2条関係)

名 称	設置地域
大分中央地域ビジョン会議	大分中央公民館の所管区域
大分西部地域ビジョン会議	大分西部公民館の所管区域
大分南部地域ビジョン会議	大分南部公民館の所管区域
南大分地域ビジョン会議	南大分公民館の所管区域
大分東部地域ビジョン会議	大分東部公民館の所管区域
鶴崎地域ビジョン会議	鶴崎支所の所管区域
大南地域ビジョン会議	大南支所の所管区域
植田地域ビジョン会議	植田支所の所管区域
大在地域ビジョン会議	大在支所の所管区域
坂ノ市地域ビジョン会議	坂ノ市支所の所管区域
佐賀関地域ビジョン会議	佐賀関支所の所管区域
野津原地域ビジョン会議	野津原支所の所管区域
明野地域ビジョン会議	明野支所の所管区域

(備考) 公民館の所管区域のうち、支所の所管区域は除くものとする。



---

# 大分中央地域ビジョン会議

---